

《知》意欲的に学び、課題に粘り強く取り組む児童
《徳》社会のルール・学校のきまりを守り、
礼儀正しく思いやりのある児童
《体》心身ともに健康で、命を大切にす児童

せんだん

珠洲市立上戸小学校
学校だより 第704号
令和5年11月24日

相談する力

上戸小学校長 山岸 修

11月6日（月）に学校保健委員会を行いました。テーマは「相談力を高めよう」です。児童会の保健委員会が進行しました。校長の挨拶の後に、事前にとっていたアンケート結果の発表がありました。

アンケート結果

こまったことがあったときどうしていますか？		きいてほしいことがあったとき、だれに話しますか？	
友だちに話す	10	おかあさん	15
おうちの人に話す	9	おとうさん	13
先生に話す	7	先生	10
自分で考えて解決	5	おばあちゃん	6
何もしない	4	学校の友だち	6
ねる	2	学校以外の友だち	5
気にしない	2	おじいちゃん	4
なく	1	知り合いの人	1
		だれもない	1

次に、保健委員会が劇をしました。ある女の子は悩んでいるのだけれど「こんなことそうだしでもいいのかな」「だれかにめいわくをかけたくない」と思って、相談をためらっています。ある男の子は、困っているのだけれど「そうだしでもわかってもらえないかも」「うまく説明できないかも」と思って、相談をためらっています。以上のような内容の劇でした。相談は、簡単なことではなく、とても勇気が必要な時もあるということです。

その後、3、4人のグループに分かれて「相談あいうえお」をグループごとに考えました。「相談あいうえお」とは相談するときに話しかける言葉のことです。例えば「あーのさ〜」「いま、いい？」

「うまく言えないんだけど」「え〜と話していい？」「お時間よろしいですか？」などです。子どもたちは、よく考えて作っていました。

終わりにスクールカウンセラーの方に話をさせていただきました。「相談は勇気がいるけど、モヤモヤしたことを話すと、だれかとつながれて1つ前に進めます。」と話してくださいました。

相談する力は、とても大切な力だと考えます。というのは今、私たちが生きている現代は、急速な情報化や技術革新やグローバル化が進み、変化が激しい時代だからです。どうすればいいのだろうと迷うことは必ず起こります。自分で調べて、判断できればいいのですが、自分で判断できないことは必ず起こってきます。そんな時には、まず、だれかに相談することが大切です。

一番よくないのは、自分一人で抱え込んで、悩み続ける事です。何も相談しないまま、過ぎてしまって、後で後悔することです。

相談をしたら、悩みや困ったことが必ず解決するわけではありません。しかし、相談するということには以下のようなメリットがあると言われています。

- ・気分が楽になる
- ・自分の価値が認識でき、孤独感がなくなる
- ・悩みの解決方法を知ることができる
- ・正しい知識を持つことができる
- ・自分で悩みがまとめられ、対処できるようになる
- ・社会資源（相談窓口や社会制度など）を知ることができる

相談して、アドバイスを受けて、その通りにしなければならないということではありません。最後にどうするかは、自分で決めることができるようになることが大切だと思います。

グループで「相談あいうえお」を話し合っている様子



持久走大会

10月26日、天候にも恵まれ、持久走大会が行われました。1・2年生は1km、3・4年生は1.6km、5・6年生は2kmを力走しました。どの児童も自分との戦いに立ち向かい、最後まで走りきることができました。上戸の子供を守る会様、珠洲警察署様、保護者の皆様、ご協力ありがとうございました。

1・2年	1位	2年	荒木 美帆	4分26秒 大会新
	2位	2年	三上 寛太	4分28秒
	3位	2年	川端 純怜	4分54秒
	4位	1年	角野 晴隆	5分01秒
	5位	2年	鷲 初叶	5分06秒
	6位	1年	吾郷友梨奈	5分27秒
3・4年	1位	3年	紺谷 洸斗	6分43秒 大会新
	2位	4年	三上 逢海	7分12秒
	3位	3年	吾郷梨愛奈	7分27秒 大会新
5・6年	1位	5年	家根 大翔	10分13秒
	2位	6年	谷内 茉子	10分35秒
	3位	6年	油谷 友希	11分25秒



授業参観等

11月1日には、授業参観・学校状況説明会・非行被害防止講座・学級懇談会がありました。道徳の授業では、4人の地域のゲストティーチャーの方においでいただきました。そして、上戸の伝統、アメリカについて、ボランティアの魅力等について熱く語っていただきました。非行被害防止講座は、3～6年生、保護者の方を対象に行いました。今年度は奥能登教育事務所の指導主事を講師に招き、本校のネット活用状況も交えながら、インターネットとの上手な付き合い方について学びました。親子でネットについて、家庭での約束等を話し合うよい機会となりました。



初鳥 進也さん



オオタ・ジリアンさん



泉 佳和さん



初鳥 弘さん

12月行事予定



2日(土)	全校登校日 生き物観察会発表会(3・4年)・SDGs学習取組報告会(5・6年):ラポルトすず
4日(月)	12月2日の振替休業日
5日(火)	県評価問題(5年)
6日(水)	司書読み聞かせ(高) 委員会
7日(木)	佐伯先生読み聞かせ
8日(金)	縄跳び集会
12日(火)	児童朝会(1・2年)
13日(水)	いじめ対応アドバイザー来校クラブ 司書読み聞かせ(全校)
14日(木)	ゴールデンタイム(百人一首練習) 児童総会
15日(金)	安全点検
18日(月)	たんぼぼさん読み聞かせ
19日(火)	ミニトーク集会⑦
20日(水)	学習ルールチェック 司書読み聞かせ(全校)
21日(木)	佐伯先生読み聞かせ ゴールデンタイム(百人一首練習)
22日(金)	終業式 通知表渡し(13:30～)

ベルマークのポイントで購入!

皆さんにご協力いただいているベルマークのポイントで、6年生と担任との相談の上、「ボッチャ」「サッカーボール」「ドッジボール」を購入しました。今後、子ども達の活動に使っていきたいと思います。各ご家庭で集めて貯めて台紙に貼っていただいたおかげです。ありがとうございました。



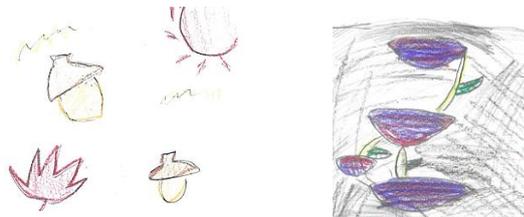
11/5には、上戸小PTAバザーがありました。皆様のおかげで、16,684円の収益がありました。ご協力ありがとうございました!

- ◆親子の架け橋一筆啓上「親子の手紙」 佳作 2年 寺下 蓮輝
 - ◆千代女少年少女全国俳句大会 佳作 2年 鱒 千珠子
 - ◆明るい選挙啓発標語 優秀賞 2年 三上 寛太
- 【すてちゃダメ! そのいっぴょうは ぼくのみらい】

1年生

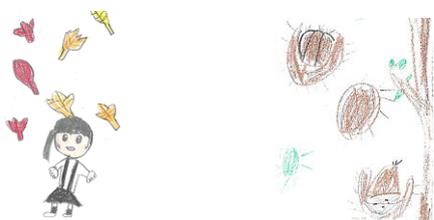
「あきといえば」

わたしは、どんぐりをひろいました。ぼうしをかぶっていて、かわいいです。ちゃいろとおうどいろです。ころころころがるから、おもしろいです。(吾郷 友梨奈)



このまえ、みんなでさつまいもをとりました。かわはあかむらさきで、なかはきいろです。小さくてかわいいもでした。あじはほかほかで、おいしいです。(角 珠々葉)

わたしは、そとであそんでいるときに、おちばを見つけました。いろはあかくてふんでみるとカサカサといいおとがしました。かぜでとばされていきました。(三上 咲良)



あきといえば、くりです。そとがちゃいろで、なかはきいろです。かわはかたいけど、みはあまくておいしいです。くりごはんにしてたべるのがすきです。(角野 晴隆)

みんなでかきをとりにいきました。だいたいいろのかきが木にたくさんありました。とったかきを、どんどんかごにいれていきました。学校まで、はこびました。(柚 みつめ)



2年生



秋といえば、げいじゅつの秋です。わけは、赤色やオレンジ色に色づいた葉が、一つのげいじゅつ作品のように見えるからです。秋になると、色々な葉がしぜんと色が変わるので、おもしろいなと思いました。(荒木 美帆)

わたしが秋のものだと思ったのは、ススキです。わけは、ススキは秋の七草だからです。ほかにも、お月見だんごのほかに、ススキもお月さまのおそなえものになっているからです。白く光る月もとともきれいです。(川端 純怜)

ぼくは、秋といえどもみじだと思います。なぜなら、赤と黄色の色を見ると、ゆうきがもえてくるからです。この前のじきゅうそう大会も、もみじを見てゆうきが出て、全力を全ぶ出せてよかったです。

(三上 寛太)

秋といえば、もみじだと思います。どうしてかと言うと、「秋だよっ。」と教えてくれている色だと思ったからです。ほかにも、秋のものはいっぱいあるけど、もみじの赤色を見ると、秋を感じることができるからです。(寺下 蓮輝)

秋といえば、おちばです。なぜかという、春の葉っぱはみどり色、夏の葉っぱもみどり色だけど、秋の葉っぱは赤やオレンジ、黄色にかわっておちていくからです。秋は、いろいろな色があっっておもしろいです。(中野 煌有司)

秋といえば、紅葉だと思いました。わけは、夏ときはふつうのみどり色だったけど、いまは、赤色や黄色などあって、秋はいろんな色があるからです。秋はいろんな色があっつてすごいなと思いました。

(鷲 初叶)

ぼくが秋だと思ったのは、どんぐりです。わけは、秋のときにいっぱいおちているからです。色は、茶色でした。いっぱいおちていたのでうれしかったです。またひろってみたいです。

(吉森 心)

3・4年生

道徳の授業で学んだこと
～ゲストティーチャーを招いて～

「秋吉あまめはぎ」を読んであまめはぎをしてみたいと思いました。町からなまけものをなくして仕事をする人をふやしたいからです。なまけものにならないように気をつけます。
(吾郷 梨愛奈)

泉さんが言っていた「オンノキバという名前になったのはなぜか？」という話で、もちをけずったらおにのキバに見えたからと言ったことがわかりました。

(紺谷 洗斗)

わかったことは、その行事を大切にすることです。なぜかという地域ごとの違いがあると思ったからです。わたしはこの地方に伝わる古い行事を大切にしたいと思いました。

(加須屋 依里)

オンノキバという名前がなぜついたかを教えてもらいました。かたくなったもちをくたくとおにのキバのような形のものがたくさんできたからだそうです。元気にくらすための大切な地域の行事だと思いました。

(三上 逢海)

かたいもちをわったらおにのキバみたいだからオンノキバと言われていることがわかりました。泉さんの仕事はとてもすごいと思いました。また仕事のお手伝いをしたいです。

(福田 彩蓮)

オンノキバについて知ることができました。もちがかたくなったものをくわいて作ったそうです。あまめはぎは、なまけものをいなくなるようにするとわかっておどろきました。

(谷内口 優月)

5・6年生

秋といえば

秋といえばくりです。理由はくりは秋が旬だからです。また、くりは秋によく食べるからです。他にもぶどうがあります。甘いぶどうもあれば、すっぱいぶどうもあります。ぼくはぶどうが大好きです。

(家根 大翔)

秋といえばくりです。とげとげの中に2つ入っていて、ぼくと妹が抱きついているような感じがします。また、いちょうともみじも秋だと思います。もみじは、赤ちゃんの手みたいです。また、妹の手のようにかわいいです。

(徳力 海来)

秋と言えば、ぼくは読書だと思います。去年の秋に、好きなマンガを大量に買って読みました。同時に5冊も買ったので、家族に買いすぎだと言われました。これからは、買いすぎは控えようと思います。読書の秋を満喫したいです。

(油谷 友希)

秋と言えばもみじの葉だと思います。なぜかという、もみじはとても赤く、印象に残るからです。また、もみじはとてもきれいです。だから、秋と言えばもみじだと思います。秋はとてもよい季節です。

(初鳥 風音)

秋と言えば食べ物だと思います。その中でも特に、さつまいもが好きです。さつまいもは1度に2つはかならず食べます。他にもまつたけを食べます。いつも秋になると、おばあちゃんが山から採って来てくれます。まつたけは、焼いたり、まつたけごはんにしたりして食べます。どれもおいしいです。

(谷内 菜子)